



7月 町屋幼稚園だより

令和7年6月30日
荒川区立町屋幼稚園
園長 関川 浩

考える楽しさ

主任教諭

蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちはこの季節ならではの水遊びや砂場での泥水遊び、色水遊びなどを思い切り楽しんでいます。町屋幼稚園での遊びの中には「考える」場面がたくさんあります。「この道具をどうやって繋げたら水が流れるかな。」「この色水とこの色水を混ぜたらどうなるかな。」「大きいシャベルと小さいシャベル、どちらの道具を使ったらうまく穴が掘れるかな」…と、試行錯誤しながら遊んでいます。時には何も考えていないようでも、じっと考えている子どもたちの姿もあります。幼稚園では、日々の製作などの材料もいろいろな選択肢の中から子どもたち自身が自由に考えて決められるようにしています。

一説によると人は最大で1日の中に3万5千回も選択と決断をしているそうで、「考え疲れ」「決断疲れ」という言葉も聞くようになりました。砂場に水が染み込む様子を不思議そうに（そして、納得がいかない様子で）じっと見ていたAちゃん。様子を見てみると、何かひらめいたように急いでジョウロを選び取り、水を汲みに行きました。その後「手伝う！」と友達も水運びに加わりスピードアップ！水がいっぱいたまってできた海に入り、とても嬉しそうでした。大人も子ども、時には考えることや決断することは難しかったり苦しかったりすることもあります。自分で考えること、自分の思いで決めることの楽しさをたくさん経験してほしいと思います。

私たち教師も子どもたちがじっくり考えられるよう見守ったり、時には仲間として悩んだり考えたりしながら、明日も「考える」ことを思い切り一緒に楽しんできたいと思います。

《今月のねらい》

- 【年 中】○友達と触れ合ったり、自分の思いを出しながら遊んだりすることを楽しむ。
○水や泥の感触を楽しんだり、夏の自然に触れたりする。



つながっていく「遊び」と「学び」

町屋幼稚園と第七峡田小学校では「就学前教育と小学校教育の円滑な接続」を目指した取組に継続して取り組んでいます。今年度は園内研究のテーマを【環境に自らかかわり主体的に活動する幼児・児童の育成「遊び」と「学び」をつなぐ教師の援助や環境を巡る～表現活動を通して～】として、表現活動を通して小学校児童や小学校教諭とも関わりながら遊びや活動楽しむ経験を重ねられるようにしています。

歌うことが大好きな町屋幼稚園の子どもたち。日頃から歌詞と一緒に身体を動かして楽しみながら歌を歌っていたり、学級で親しんでいる歌を自然と遊びの中で口ずさんだりしています。1学期には第七峡田小学校1年生の音楽の授業を見学させてもらい一緒に参加させてもらったり、音楽の先生と一緒に歌を歌ったりすることも楽しめました。

幼稚園でのびのびと身体いっぱい表現しながら歌ったり踊ったりする経験が、豊かな感性を育むことや小学校以降の音楽や図工の教科での学びにもつながっていきます。

音楽の先生と
一緒に歌ってみよう！



1年生の音楽の授業を
見せてもらいました。